

# 日本の養鶏関係企業も多数出展

## V I Vアジア2011(タイ)



ハイテムのブース



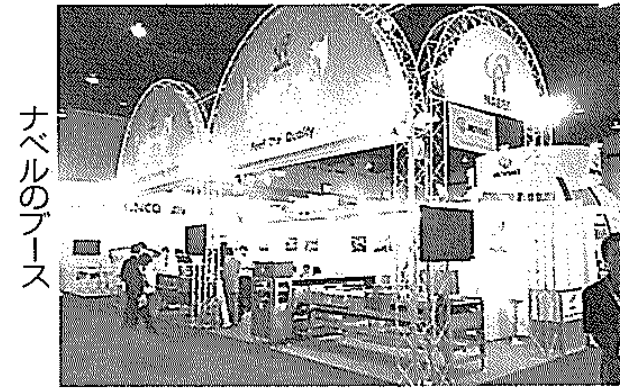
ピアイシィ・バイオのブース



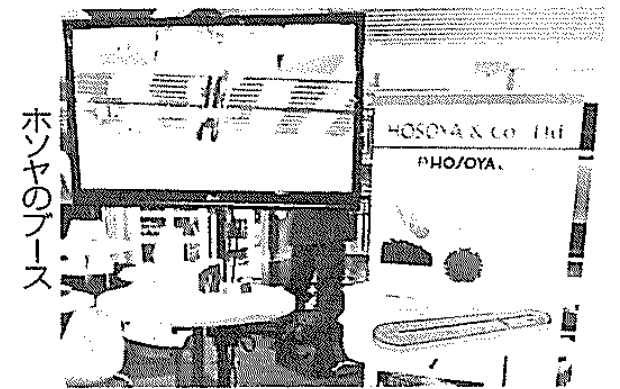
共和機械のブース



晃伸製機のブース



ナベルのブース



ホソヤのブース



カルピスの日本人スタッフ

アジア最大級の畜産関係の展示会「V I Vアジア2011」が3月9日から11日まで、タイの首都バンコクで開かれ、世界の約100か国から、前年を約1万人上回る約3万人の畜産業界関係者が会場を訪れた。世界の畜産機器や飼料原料のメーカー、鶏の育種会社など約700社が新製品や最新情報を紹介。日本からもカルピス(株)、(株)ハイテム、日本ニュートリション(株)、(株)晃伸製機、共和機械(株)、(株)ナベル、(株)ピアイシィ・バイオ、(株)ホソヤ、住友化学(株)(スミトモ・ケミカル・シンガポール)などが畜産設備機器や飼料添加物を出展し、日本の高い技術力や品質基準をアピールした。主な出展各社の内容は次の通り。3月11日以降は、世界各国の出展者や来場者、取引先から、東日本大震災の被災者を心配する声や温かい励ましの言葉をいただいたとのこと。

### ハイテム

3年前から稼働を始めた中国・天津の同社製造会社「スターハイテム」の安定フル稼働を目指し、昨年からはアジアを基盤とする海外営業展開をスタートさせている(株)ハイテム(安田勝彦社長)は、その一環として初めて出展。国内農場のニーズに地道に対応して築き上げた他社システムとのわずかな差が生む、養鶏農場オートメ化による第2の利益(破卵率、糞乾電気代などの差)をアピールした。

レイヤーファーム自動化へのニーズは高く、出展内容は、日本発レイヤー農場向け技術革新をテーマに、同社直立ゲージ、鶏舎廃熱を利用し、鶏糞をシンブルに肥料化するハイテムセコノブ、2方向からのイメージ分析で99%以上の精度があるエックカウナ「アキユカウント」などで、同社の期待以上の引き合いが寄せられた。

同社では、世界の主なゲージメーカーのシステムが紹介されている中で、長年にわたる実績をベースに、同社天津工場での製造体制を生かし、今後はアジア市場への展開を地道に進め、来年はV I Vチャイナにも出展したいとしている。

### ピアイシィ・バイオ

(株)ピアイシィ・バイオ(奥村由巳社長)は、本社・東京都品川区西五反田1-29-2は、家畜の健康に役立つ大豆由来の高たん白生菌飼料「P3 DASH(ピイスリーダッシュ)」や、鶏糞の悪臭を低減し、肥料としての効果も向上させる資材「カナダフミン」と液体フルボ酸「カナディア」が紹介されている。海外向けに販売している「サルトルゼIX」などを展示した。

来場者について奥村浩一郎常務は「開催国のタイのほか、インドやベトナム、フィリピン、マレーシア、バングラデシュなどの人々が目立った一方、日本や韓国からの来場者は予想以上に少なく、鳥インフルエンザと口蹄疫の悪影響が、ここにも表れていると感じた。

興味深かったのは、養殖業が盛んな土地柄に加えて水産関係の専門展示会「アクアティック・アジア」を同時開催していたため、水質の向上などにも役立つ「フミン」と「フルボ」に高い関心を示す水産関係者が多かったこと、P3 DASH Hなどのプロバイオティクス製品が、アジアでは思ったほど使用されていないとの印象を受けた。

共和機械(株)友末琢磨社長(本社・岡山県津山市河内375)は、毎時3万卵処理のフルオート選別包装機「JOB-300」などを出展。アジア各国のユーザーニーズに配慮して、洗卵・乾燥工程や容器の自動供給、自動検卵工程、インパットクラベルの投入装置などを一切省略したタイプを展示した。

友末社長は「機器の展示と併せて、同型機が日本に5台、回を追うごとに、にぎやかになっていく」と感じる。化学肥料の価格が世界的に高騰しているためか、鶏糞発酵処理装置への引き合いも例年より多かった。鳥インフルエンザや地震、津波などが国内で相

前に黒山の人だかりがでるほどだった。3日間を通して10か国以上の来場者がブースを訪れ、新製品の勢いと熱気を改めて感じさせられた」と振り返っていた。

共和機械(株)角谷裕造社長(本社・愛知県あま市七宝町桂築188)は、鶏糞発酵処理装置とゲージ洗浄ロボット「VENUS」を展示。「VENUS」は、他に類のない画期的な機器であるため、来場者の関心も非常に高く、各国の機器販売代理店からは販売権取得の申し込みが相次いだ。

ナベル(株)南都邦男社長(本社・京都市南区西九条森本町86)は、一時間当たり3万卵処理のフームバック「FFP 3100」、トレイ洗濯機「TAW501」、卵洗浄機「NEW403」、卵質測定装置「DET6000」を紹介。

南都邦男専務は「食の安全・安心や徹底した衛生管理へのニーズが、アジア各国でも強まっているため、トレイ洗濯機や卵洗浄機をブースに展示したところ、V I V展全体の入場者数が、前回より約4割増えたことを受けて、昨年のインドの展示会に続いてV I Vアジアに出展したが、アジア各国の畜産関係者が多数商談に訪れ、非常

に実りの多い展示会となった」と満足げに語っていた。

開催期間中は23か国の飼料畜産関係者がブースを訪れ、日本の製品への「信頼感」や「安心感」「期待」を口にする人が非常に多かったことが印象的だった。来場者の話からは、アジアや中東でも、抗生物質に頼った畜産からの脱却や、その代替となる信頼性の高い生菌剤の採用を熱心に模索していることが分かったため、非常に有意義な出展となったと考えている」とし、今後の市場拡大に期待を込めていた。

### 共和機械

### 晃伸製機

### ナベル

### ホソヤ

### カルピス